

みらキャンお便り Vol.23

ぎょうざとはくまい

10月号
10.8.2026

「図書館みらいキャンパス」は、図書館内に設置した子どものための活動室です。子どもメンターが勉強サポートをはじめ、子どもたち一人ひとりと向き合いながら対話し、自分の将来を考えるきっかけづくりを進めています。メンターは、地域おこし協力隊の浅香里菜と上岡安里。ここでは、2人の気づきや、みらキャンでの出来事をお伝えできればと思います！

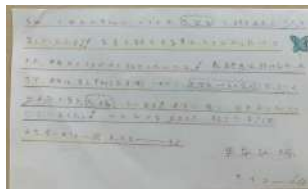
しゃりまなび場

今年も9月16日～19日の4日間、図書館会議室で「しゃりまなび場」が実施されました！北海道内外の大学生と社会人が中高生を対象に学習サポートや対話、ワークショップを行いました。延べ90名の生徒が来場し、身近な不安や将来の悩みを一緒に考えるととても良い機会になりました。さらに、普段なかなか出会うことのない大学生や社会人との交流を通して、新しい考え方や将来の選択肢に触れる時間となりました。会場では勉強に取り組む様子だけでなく、進路や趣味、学校生活について楽しそうに語り合う姿も見られ、学びと交流の輪が広がっていました。参加した生徒たちにとって、自分の将来や可能性について考えるきっかけとなる4日間になったのではないかと感じています。



【参加した生徒の声】

今回、2回目の参加で、いろんな大学生と話を出来て、とっても楽しかったです！！全員と話をすることはできなかったけど、来年はたくさんの人と話をしたいです！！最終日は行けなかったけど来年は全て参加します(笑)これから大学生→社会人になっていくみんなのことを応援しています！本当に楽しい日をありがとうございました！！みんなの事、大大大・・・好きです！(笑)また、会いましょー👍
まってまーーーーす！まなび場サイコー！👍
(Yさんより)



＼塾じゃないです、活動室／

図書館みらいキャンパス

【実施日】火水木 15:00 - 18:00 / 土 13:00-17:00

【対象者】小学5年生～中学3年生

📍斜里町立図書館（文光町51-9） ☎23-3311



TOSHOKAN_MIRAIKAMPUS

～まなび場メンバーから

あなたへメッセージ～

しゃりまなび場終了後、まなび場参加メンバーからみんなへメッセージをいただきました～！

りゅう：まなび場に足を運んでくれてありがとう！ここで過ごした時間が、この先も記憶に残ってくれてたらうれしいです！

ちせ：4日間の非日常を一緒に作ってくれてありがとう！皆の日常にも過ごした時間がどこかに残っていますように。

なおき：来てくれてありがとう！みんなに会えて良かった。ここで出会ったお互いの存在を支えにしつつ、日常もまた楽しんでいこう！

まゆ：人生初北海道の思い出は出会った皆が想いをまっすぐ伝えてくれたこと。しかと受け取った！皆のすこやかな明日を大阪から願ってるよ～

すーちゃん：まなびば来てくれてありがとう！みんなと出会えてほんとうに楽しかったです！これからの毎日もほどほどにがんばろうね!!

れい：みんなと過ごした4日間、とても濃くてかけがえのない時間でした。この時間をどこかで思い出してくれたら嬉しいです！

しゅん：4日間という短い期間の中で、みんなと過ごした時間は、少し経った今も忘れていません。また、どこかで会えることを楽しみにしています！

びっちゃん：久しぶりも初めましても来てくれてありがと～。ちなみにこで始まる飲み物クイズの最高得点は20.5点でした！

10月のイベント情報

*イベントの詳細は図書館に掲示しています

25日(日) 7:00-15:30

〈バス模試〉模試を受けに行こう！みらキャンでバス出します！



北見までの送迎をみらキャンがサポートします！
今の実力を知ることはみらいの可能性を広げること。

自分の実力を試しませんか？

～過去の参加者の声～

同級生がたくさんいた・休憩時間も勉強をしている人がいて驚いた
問題は難しかったけど自分の実力を知るきっかけになった！

結果がグラフや数字で見られるのが面白い！次はもっと頑張りたい！などなど

※申込は終了しました

詳細はコチラ→



31日(土) 12:30-15:30

芋を食べながら火をながめる会



みらキャンの秋と言えば焚火！

薪を割って、枝ピックを作って、芋を焼いてのんびりします。

みんなで火をながめながらチルタイムしよう！

詳細はコチラ→



10/6 (火) 15:45-16:45

みらいトーク

10/21(水)

全国の現役大学生とオンラインで話ができます。大学生たちの話を聞いて、自分自身のちょっと先の“みらい”を考えてみませんか？

地域とつながりの場をつくる

としょかんまつり 9/13(日)

暖かい日差しの中「第32回としょかんまつり」が開催されました。みらキャンブースでは「シルクスクリン体験」を行い、大きな布に12種類のデザインの絵柄をプリントしました。通常みらキャンでは小学5年生～中学3年生を対象としていますが、今回は年齢制限がないため未就学児のお子さんから大人の方まで幅広い年代の方が参加されました。WS体験を通して、みらキャンが図書館で活動していることを幅広い年代に周知する機会となりました。また、全員で1つの作品を制作したので、参加者が「どこに刷ろうかな」「ここに刷ろうかな」と一人ひとりが刷る場所を考えながら取り組んでいる姿が印象的でした。この体験を通して「わたしも作った」「ぼくも関わった」という協同意識、協同の輪がうまれたのではないのでしょうか。〈上岡〉



しれとこ産業まつり 9/27(日)

「もっと地域の皆さんにみらいキャンパスを知ってもらいたい」という思いから出展を決め、当日はお手伝いに中学生が1名参加しました。ブースの準備や片付けからお客さんの呼び込み、記録の写真撮影やワークショップの片づけなどで活躍してくれました！

ブースでは「マイ箸づくり」と「ペットボトルキャップでフラワーづくり」のワークショップを実施し、子どもから大人まで多くの方にご参加いただきました。地域のイベントに参加したことで、子どもたちだけでなく、保護者の方や地域の皆さんとも交流でき、自分の仕事やみらいキャンパスの活動を知っていただく機会にもなったと感じています！

初めての参加で分からないことも多くありましたが、たくさんの方にご協力のおかげで無事終了することができました！本当にありがとうございました！

今後も町内のイベントに積極的に参加し、斜里の子どもたちや地域の皆さんに活動を知っていただきながら、多くの子どもたちが集い、過ごす場づくりを続けていきたいです。〈浅香〉

【お手伝いしてくれた中学生の声】

初めてお祭りのお手伝いに参加してみて、すごく楽しかったです。机と椅子の移動や、箸づくりの削った後の片付けなどをしましたが、どれもやりがいがありました。

